

緑のカーテンコンテスト 開催



市・区 環境課 〒314-0192 神栖市溝口4991-5
Tel0299-90-1146 ✉kankyo@city.kamisui.ibaraki.jp

地球温暖化の一因であるCO2の削減と省エネを目的として、「緑のカーテンコンテスト」を行ないます。優れた作品やユニークな作品には賞状やエコ商品をプレゼント!



対象=今年の夏、市内の自宅・事業所・学校などに、つる性の植物による緑のカーテンを設置した方
申込期間=7月16日(火)~9月16日(月・祝)
申込方法=応募用紙に必要事項を記入し、設置状況の写真を数枚添えて、郵送、メールまたは持参
※応募用紙は環境課、市民生活課、市ホームページで入手可能

緑のカーテンとは...

日当たりの良い窓や壁のそばに、ゴーヤ・朝顔・キュウリなどのつる性の植物をはわせた植物のカーテンです。植物の働きで周囲の温度が下がるので、室温の上昇を抑えられます。地球だけでなく、身体とお財布にも優しいカーテンです。

みんなで「節電」に取り組もう

今年の夏も、無理のない範囲で節電を実践していきましょう。
少しの工夫で環境に優しく、電気代も節約できます。

区 環境課 Tel0299-90-1146

家庭でできる節電対策

- 照明、テレビなどをこまめにスイッチオフ
- 冷蔵庫の開け閉めを減らす
- 待機電力をカット
- エアコンの設定温度、風向きを調整
- 緑のカーテンを設置しよう



市役所も
節電に取り組んで
います

- クールビズを推進し、電気使用量を削減
- 冷房時の室温は28℃を目安に設定し、緑のカーテンを設置
- 時間帯に応じたスイッチのこまめな入・切を実施
- 蛍光灯の交換時には、LEDなど省電力タイプのものを導入
- 節電タップを利用し、待機電力のカットを推進

マダニに注意

区 保健予防課 Tel0299-92-0141

野山に生息するマダニに咬まれることで、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。山や草むらでの野外活動の際は、マダニに注意しましょう。



マダニに咬まれないためのポイント

- 帽子や手袋を着用し、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくしましょう
- 長袖・長ズボンなどを着用し、シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れてみましょう
- マダニを目視で確認しやすくするため、明るい色の服を着ましょう
- 虫除け剤を使用しましょう
- ※野外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないかを確認しましょう(特に、脇の下、足の付け根、手首、膝の裏などは注意が必要です)



マダニに咬まれたら

- 無理に取り除こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱などの症状が認められた場合は医療機関などの受診をおすすめします

【受診時に医師へ伝えること】①野外活動の日付 ②場所 ③発症前の行動

光化学スモッグに注意

区 環境課 Tel0299-90-1146

光化学スモッグは、自動車の排出ガスや工場排煙などが、太陽光線に当たることによって発生します。気温が高く、風が弱いときは注意が必要です。目に違和感を覚えたり、のどや鼻の痛み、せきなどの症状が出たりしたときは、問合先までご連絡ください。



光化学スモッグ注意報が発令されたら

- 外出や外での運動は十分注意してください
- 不要不急の車の使用を避けてください
- 目に違和感を覚えたり、のどが痛くなったりしたときは、水で目を洗い、うがいをしてください

※光化学スモッグが発生したときは、防災行政無線で注意報、警報、重大警報の3段階に分けてお知らせします

光化学スモッグ注意報などの発令状況は、次のホームページでご覧になれます。ぜひご活用ください。

- 環境省大気汚染物質広域監視システム(そらまめくん)
- 茨城県大気汚染常時監視情報(県ホームページ)

